

授業と講義で「創り」を伸ばす(2)

How to foster TSUKURI(Creation) in the Lessons and Lectures

弓野 憲一

Kenichi YUMINO (E-Mail: yuminoocn@etude.ocn.ne.jp)

(弓野教育研究所)

<要旨>

必要な情報が瞬時に手に入るネット社会において、生涯にわたって活躍できる能力・資質の形成するには、「学び」のみではなく、「創り」を志向した「授業」、「講義」が欠かせない。それらの実現のためには、「創り発問」と「ほめ方」が決めてとなる。

<キーワード> 学び、創り、学習、課題発見・解決、創り発問

1.はじめに

世界が結びついたインターネット社会では、キーワードを入力すると必要な情報を瞬時に手に入れることができる。かつて長時間をかけて記憶に貯えたり、本や辞典で調べたりした必要情報がその場ですぐに手に入るのである。このことは、情報(知識)の習得に重きを置いた、これまでの教育に大きな変革を迫ってくる。

インターネット社会を生きる子どもには、これまでの基礎・基本の確実な習得の他に、どのような知識・スキル・能力が必要なのか。世界の先進国では、①ある事柄に関する知識の伝達だけに偏らず、学ぶことと社会とのつながりをより意識した教育。②子どもたちはそうした教育のプロセスを通じて、基礎的な知識・技能を習得。③そして、実社会や実生活の中でそれらを活用しながら、自ら課題を発見し、その解決に向けて主体的・協働的に探究し、学びの成果等を表現し、更に実践に生かしていけるような力の育成が教育目標にあげられている。三つの教育目標を達成するためには、日本の教育を特徴づけている「学び」の拡張が必要と思われる。

2.「学び」と「創り」

「学び」の語源は「まねる」にあるという。学ぶことの第一義的な意味がまねるにある

とすれば、まねる人とまねられる人(対象)が必要になる。その対象には、言葉、新しい知識、行動、スキル、価値、好み等々が含まれる。人はそれらの諸対象を教師・親・家族・友人・社会を通じて、さらには本・教科書・各種のメディア等を通じて獲得していく。

「作り」と「創り」の動詞形は「作る」と「創る」である。英語では"make"と"create"に当たる。モデルをまねて作品を描いたり、設計書に従って「もの」を完成したりするときには、通常は「作る」という語が用いられる。しかし、モデルや他人の作品やアイデアをまねではなく、その子独自のイメージによって形あるものを完成した場合には、「創る」という語が用いられる。このことから、創りには、他の人のまねではなく作者独自の何かが加わったものであることがわかる。「学び」と「創り」の特徴を表1に示している。

3.「学習」と「学び」および「創り」と「上記の教育目標」との関係

日本も含めて東洋の教育では、「学び」が強調される。しかし、西欧先進国の「学習」は、「学び」の上に立った「創り」で完結する。日本の教育において、上記の三つ目標を達成するには、創りに踏み込んだ「授業」と「講義」が必須である。

表1 「学び」と「創り」の特徴

	学び	創り
①新しい学問や新科学技術の創出	内包しない	内包する
②学習の効率	高い	低い
③教材の真偽	全て真	真偽の判断必要
④知識の範囲	狭い	広い
⑤知識の忘却	起きやすい	起きにくい
⑥学習に対する責任	低または中	高い
⑦知識に対する自信	低い	高い
⑧自己（I）の関わり	低い	高い
⑨議論の必要性	無	有
⑩議論に使える知識	あまりない	たくさんある
⑪創造性の伸張	期待できない	期待できる
⑫思考の範囲	狭い	広い
⑬仮説の設定	あまり必要なし	必要である
⑭仮説を検証する方法	既知の方法	新たに必要
⑮推論のレベル	低い	高い
⑯場の雰囲気	厳粛	自由・のびやか

4. 「創り」の能力を伸ばす講義と授業

・創りを志向した授業と講義では、「あなたの意見は?」、「なぜそのように思うの?」、「その結論の根拠は?」、「あなたらしい表現は?」、「どの点を工夫したの?」、「もっといいアイデアがないかな?」、「どうすれば地域に貢献できるのかな?」、「なぜ?」、といった教師の質問が、たびたび出る。

・創りを志向した授業では、創りを促す発問「創り発問」を工夫する必要がある。

<創り発問の例>

・iPs細胞には、2万を超える遺伝子の内、僅か4つが関与するという。これらの遺伝子に選択する方法を推測しよう。

・インターネットを通じて、知らない人同士が交流できる仕組みを提案しよう。

<引用文献> (弓野ら著):『アクティブな「学び」と「創り」のデザイン』Kindle Book.
弓野教育研究所 HP (<http://dyumiken.com/>)

・「サッカーをした」という話題に対して
5W1Hの質問、疑問を多く考えよう。

・読んだ物語の続きをつくろう。

・一日の気温変化を推測しよう。

・びんの固いキャップを開けるアイデアは?

・コロンブスと宇宙飛行士の類似点・非類似点は?

<創りをほめる>

・エジソンも顔負けだね。

・他の人もその発想を使いたくなっちゃうね。

・その切り口は大事にしたいね。

・あなただから思い付いたアイデアだと思うよ。

・あなたのパワーを感じるアイデアだね。

・さすが君らしいね。

・その視点は斬新だね。